

のための窓口の混雑緩和を目的として、コンビニエンスストアに設置されている多機能端末機を利用した各種証明書の交付手数料を50円減額するため、条例の一部を改正するものです。

なお、令和4年3月31日までの期間については、さらに50円を減額し、合わせて100円を減額するものです。



コンビニエンスストアの多機能端末機

### 補正予算 補正総額 9億9941万円余り

○令和2年度行田市一般会計補正予算（原案承認・可決）

12月補正後の諸情勢の変化に伴う各種経費の追加措置のほか、予算の執行状況に応じた減額措置を行うもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ9億9941万6千円を追加し、予算総額を372億61

83万7千円とするものです。

歳出の主なものとして、総務費では、退職手当、ふるさと納税記念品費、秩父鉄道整備促進協議会負担金、循環バス運行経費補助金等の不足が見込まれる予算について追加措置するほか、森林環境整備促進基金の積み立てを行うものです。

民生費では、介護施設等が実施する水害対策を支援する補助金、介護保険事業費特別会計への繰入金、児童福祉施設等感染拡大防止対策費補助金、保育所等に対する負担金などを追加措置するものです。衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種事業を実施するための関係経費を措置するものです。

農業費では、県営ほ場整備費事業負担金を追加措置するとともに、新型コロナウイルスの影響により中止となった農業生産物展示会及び田んぼアート米づくり体験事業の補助金等を減額するものです。

商工費では、コロナ禍における事業の安定した継続を目的として事業継続計画を策定した事業者への奨励金を追加

措置するとともに、商工祭協賛補助金、商業振興活性化助成金、浮き城まつり補助金及び運まつり交付金を減額するものです。

土木費では、橋りょう維持補修調査測量設計委託料、都市計画条例指定区域調査委託料を追加措置するものです。

消防費では、救急活動における感染症対策として、マスクや感染防止衣、救急車両に搭載するオゾンガス発生装置等を購入するため、消耗品費、救急用具購入費を追加措置するものです。

教育費では、小学校屋内運動場の非構造部材等の耐震工事請負費を措置するとともに、鉄剣マラソン大会開催事業交付金を減額するものです。

なお、これらの歳出を賄う財源は地方交付税、国・県支出金、寄付金及び市債により措置するものです。

### 【主な質疑】

○新型コロナウイルスワクチン接種事業

**問** ワクチン接種を受けるのは義務なのか、任意なのか。

また、対象となる高齢者と高齢者に満たない場合の最低年

齢制限は。

**答** 市民の努力義務となり、任意なものになると認識している。対象となる高齢者は、令和3年度中に65歳に達する方までである。なお、高齢者以外の方については、今後、国から示される予定である。

**問** 接種の開始時期及び接種場所は。

**答** ワクチンの入手状況によるため、接種時期は未定である。場所については、集団接種、あるいは市内医療機関での個別接種も含め、医師会と協議・調整中である。

○循環バス運行経費補助金

**問** 市内循環バスの補助金を追加する理由は何か。

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響により、循環バスの乗客数が減少し、運賃収入が減少しており、その減少した分を補てんするほか、本年4月から観光拠点循環コースを見直して運行するための経費を措置するものである。

**問** 循環バスの運行経費が毎年のように増額しているが、経費は精査しているのか。

**答** 事業者から提出される収支予算書や収支決算書等を十

分精査するとともに、直接事業者を訪問し、燃料油脂費、車両修繕費等の明細書の確認や聞き取り調査を行っている。今回の補正は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、特に緊急事態宣言が発令された4月、5月の運賃収入については、前年に比べてマイナス52%と、非常に大きな減少となっていることによるものである。



市内循環バス

### その他 第6次総合振興計画 基本構想を可決

○第6次総合振興計画基本構想について（原案可決）

12月定例会で継続審議とした本構想は、付託された総合振興計画基本構想審査特別委員会による審査を経て、3月定例会初日に賛成多数をもって可決されました。